

# 乙女高原ファンクラブ 2017年度 活動報告(ダイジェスト版) 2017.3.~2018.2.

## ■こんな1年間でした

1. 1年間で14名の入会者があり、現在、総入会者数は700名。
2. 活動への参加者数はのべ581人(2004年度:811人,05:1200,06:1378,07:1344,08:1253,09:1176,10:834,11:758,12:590,13:660人,14:630人,15:699人,16:846人)。
3. 毎月第一土曜に乙女高原へ行く自然観察交流会を実施2年目。
4. 環境省/日本自然保護協会によるモニタリング1000里地里山調査のヤマアカガエル産卵調査は4年目。合計で25腹の卵塊を観察(2014年度:35腹,15:42腹,16:29腹)。
5. 山梨市駅前の街の駅にて、乙女高原の常設展示2年目。シーズン6:スマイレ, S7:マルハナバチ, S8:昆虫, S9:秋の花, S10:草刈り, S11:フォーラム, S12:谷地坊主。12月からは、牧丘総合会館でもパネル展示を開始した。
6. 第18回遊歩道作りを実施。山梨ロータリークラブより樹名板の寄付を受けた。
7. 7年目となるスマイレ観察会。5月に2回。スマイレハイクを4月に実施。いずれも講師は案内人・依田さん。また、6月には有志で黄色いスマイレハイクを実施。
8. 6・8・9月と年3回のマルハナバチ調査を実施。15年目。
9. 夏休みのボランティアガイド復活2年目。計7日間実施。
10. 草原で見つかった巣がカヤネズミか確かめるためシャーマントラップを設置・調査した。9月1日~2日, 23日~24日の2回。高槻さん指導。
11. 11月23日に第18回草刈りボランティアを実施予定が、降雪のため中止。県・市の担当者の働きにより大きな混乱なく中止・延期。26日に実施。参加者44名。
12. 第17回乙女高原フォーラムに54名の参加者。テーマは「乙女高原, 小さな哺乳類(なかま)たちの暮らしぶり」。講師は都留文大の北垣憲仁さん。
13. 次の団体から助成金を拝受。  
山梨市/乙女高原保護活動事業補助金(7万円), ㈱田丸グリーン基金(10万円), 富士ゼロックス/富士ゼロックス端数倶楽部(10万円), あいおいニッセイ同和損保(164,370円), イオン石和/マックスバリュ東海(26,900円), 石川工務所(1万円)。
14. 計9回の乙女高原連絡会議・世話人会を開催し、各行事の計画を立てたり、実施後の反省を実施。連絡会議は山梨県・山梨市の担当者を交えて開催した。
15. 会報「乙女高原が好き!」を年4回発行。
16. メールマガジンを年17回配信し、ホームページを更新。
17. 2009年に始めたデータロガーによる気温の計測を継続。
18. 乙女高原フェロー制度をスタート。第1回フェローとして5人を認定。乙女高原フォーラムの席上で記念品のマグボトルを進呈した。
19. 遊歩道づくり, 草刈りボランティア, 乙女高原フォーラムは県・市との共催事業。今後とも行政との協働で乙女高原の自然を守り育てていきたいと思っています。
20. ※11月に放映されたNHK大河ファンタジー「精霊の守り人」最終章・第1話に、乙女高原でロケされた映像が7分ほど放映された。
21. ※2018年2月1日, 乙女高原の谷地坊主が山梨市の天然記念物に指定された。

## ■ 1年間のおもな活動の足跡 乙女高原ファンクラブ 2017

### ■ 3/12 2016 年度定期総会



牧丘総合会館にて。出席 16 名。委任状 109 名。2016 年度の振り返りと 2017 年度の活動計画について検討。新世話人の選出。10:00-12:00

### ■ 4/9 ヤマアカガエル産卵調査



環境省と日本自然保護協会によるモニタリング 1000 里地調査への参画。4/1, 4/9, 4/16, 4/29, 5/13 の 5 日間調査。のべ 10 人。合計 25 の卵塊をカウント。9:00-15:00

### ■ 4/15 第 1 回スミレ観察会 スミレ・ハイキング



参加者 8 名。鼓川温泉駐車場に集合し、乗り合わせて林道の遊歩道入り口から焼山林道を歩きスミレ観察の予定が、スミレがほとんど咲いていなかった。講師は依田さん。9:00-15:00

### ■ 5/14 第 18 回遊歩道作り



参加者 57 名。田丸グリーン基金や山梨ロータリークラブなど団体参加ありがたい。ロータリークラブより寄付された樹木名板が雨宮さんによって設置された。9:30-12:30

### ■ 5/14 第 2 回スミレ観察会



参加者 21 名。乙女高原や湿地、焼山でスミレ観察。乙女で 30 番目のスミレとなるフギレミヤマスミレを発見。講師は依田さん。13:30-15:30

### ■ 5/20 第 3 回スミレ観察会



参加者 16 名。展望台や湿地、四季の森、焼山峠などでアケボノスミレやミヤマスミレ、シコクスミレなどスミレ三昧だった。講師は依田さん。10:00-14:30

### ■ 6/3 黄色いスミレウォッチ



参加者 17 名。山本さんを案内人に、黄色いスミレ・キバナノコマノツメが群生している場所まで林道をハイキングした。キバナノコマノツメに訪花昆虫を確認。10:00-15:00

### ■ 6/17 上野原の自然を観る会 案内 (6/20 も)

No Photos

参加者各 27 名。乙女高原案内人 2 人で案内。エゾハルゼミの鳴き声、サクラスミレ、シカ柵内外の違いなどを観察した。これ以外の団体の案内もあった。10:00-14:00

### ■ 6/25 マルハナバチ調べ隊①

No Photos

参加者 5 名。シカ柵内のアヤマの花は復活したが、春が遅かったせいか、ラインセンサス調査結果は 0 頭。午後の待ち伏せ調査は中止した。10:00-14:00

■7/1 谷地坊主の観察会



参加者 11 名。雨の中の観察会になった。湿地のスゲ植物を観察し、どのスゲが谷地坊主を作るか観察した。また、少し高いところから谷地坊主の群落を観察し、谷地坊主が形成される条件を探った。9:00-15:00

■8/5 夏休みの案内活動



夏休み中の土日、乙女高原案内人有志が交代で、乙女高原の案内活動を実施。7/29, 7/30, 8/5, 8/6, 8/11, 8/12, 8/13 の 7 日間。のべ 16 人の案内人が参加し、大勢の来訪者を案内した。

■8/5 マルハナバチ調べ隊②



参加者 12 名。ラインセンサス調査 48 頭。午後から待ち伏せ調査を実施。10:00-14:00

■8/9 森林ふれあいウォーク



山梨県緑化推進機構が主催するイベントにガイドとして協力。参加者 20 名。案内人 4 名。焼山峠と乙女高原間はハイキング、乙女高原で自然観察した。10:00-14:00

■9/1 乙女高原ネズミ調査



参加者 10 名。夕方、乙女高原内に 40 個のシャーマントラップを設置し、夜間と明け方にネズミがかかっているか見回った。23 日にも実施。おもにかかっていたのはハタネズミ。

■9/9 マルハナバチ調べ隊③



参加者 11 名。ラインセンサスで 31 頭のマルハナバチをカウント。午後から待ち伏せ調査を実施。10:00-14:00

■11/23→26(雪のため延期)  
第 18 回草刈りボランティア



参加者 44 名。前日降った雪のために延期した。そのため、送迎バスもごみ収集車による刈り草運搬も豚汁作りもキッズボランティアも中止し、集まった人たちで、できる範囲で草を刈った。9:30-12:00

■毎月第一土曜日  
乙女高原自然観察交流会



乙女高原の自然を定期的に観察しようとして乙女高原案内人有志でスタート。ファンクラブの活動があるときにはそれと兼ねて行った。昨年度から始まり、今年度は第 2 期。

■1/28 第 17 回乙女高原フォーラム



夢わーく山梨にて。「乙女高原の小さな哺乳類(なかま)たちの暮らしぶり」をテーマに都留文科大学特任教授の北垣憲仁さんをゲストに迎えて実施。参加者 54 名。13:00-15:30

## ■乙女高原ファンクラブまで 乙女高原ファンクラブから

- 1998.8 乙女高原自然教育研究会執筆・写真・編集による『乙女高原フィールドガイド』発行。  
1999.9 「乙女高原の森」連絡会議発足。  
2000.3 乙女高原スキー場用地使用協議の廃止。  
2000.11 第1回「乙女高原の草原を守る！」草刈りボランティア開催。
- 2001.4 乙女高原ファンクラブ発足** 発足記念映画会 吉永小百合『明日は咲こう花咲こう』
- 2001.5 草原内の遊歩道を全面的に改定。土壌流失のひどい遊歩道は閉鎖。新遊歩道開設。  
2002.3 **新事業**・第1回乙女高原フォーラム開催（ゲストは西丸震哉さん）西丸流自然とのつきあい方  
2002.11 やまなし山の日イベント大賞受賞（受賞対象は乙女高原自然講座）  
2003.4 **新事業**・乙女高原案内人養成講座スタート（03,04,05,08の4期）  
2003.6 イタドリ刈り取り実験用コードラート設置  
2003.6 **新事業**・マルハナバチ調べ隊スタート。（毎年3回）  
2003.10 乙女高原で8月にマーキングされたアサギマダラが愛知県田原市衣笠山で再捕獲  
2003.10 土壌観察会（筑波大学土壌環境化学研究室と共催）  
2003.11 第4回乙女高原の草原を守る！で、キッズボランティア開始  
2004.1 やまなし環境財団より若宮賞受賞  
2004.4 (株)田丸グリーン基金より協力参加費をいただく。（以後、毎年）  
2004.6 **新事業**・イタドリ刈りスタート。（2007年まで4年間）  
2004.7 乙女高原案内人による夏の自主インタープリテーション活動開始（以後、毎年）  
2004.12 真っ赤になったグリーンロッジの屋根について町と町教育委員会に意見書提出  
2005.4 「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰受賞  
2006.1 **新事業**・山梨市民会館ロビーにて乙女高原展開催（以後、毎年）  
2006.5 月に一度の乙女高原案内人勉強会スタート  
2006.12 山梨鈴木助成事業財団の助成により『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』刊行。  
2007.3 石和サティの「しあわせの黄色いレシートキャンペーン」に参加。  
2007.6 全労済の助成金を活用し乙女高原フィールドガイドⅡ『マルハナバチ』を作成。  
2008.6 **新事業**・アサギマダラ調べ隊スタート（マーキングされたチョウが兵庫・高知で再捕獲）  
2009.4 (株)田丸グリーン基金を活用し、乙女高原フィールドガイドⅠ『お花たち』を改訂増刷  
2009.7 (社)関東建設弘済会「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に当選  
2009.11 第10回草刈りを記念し、多大な貢献のあった10団体に感謝状と記念品贈呈  
2009.11 **新事業**・乙女高原に自動温度記録計設置（気温・地温）。計測スタート  
2010.5 **新事業**・草原2箇所、湿地1箇所、計3箇所にシカ柵設置。以後、モニタリングを行う。  
2010.11 乙女高原が山と溪谷社・日本山岳遺産基金による「日本山岳遺産」に認定される。  
2011.5-6 3回のスマイレ観察会を実施。  
2011.6 麻布大学高槻研究室のシカ柵内外の植物調査に協力。  
2011.11 東京農工大星野研究室・(株)田丸の協力で藁撒きプロジェクト(刈り草を残土処分場へ)を実施。  
2012.1 乙女高原フィールドガイドⅢ『スマイレ』を発行。  
2012.8 自主的に百葉箱を設置、ベンチ・テーブルの修理と新設、案内板を修理。  
2013.6 **新事業**・草刈りの時期を変えて草刈りの効果を確認する刈り取り実験。  
2013.11 11年分のメールマガジンを編集した『乙女高原大百科』を刊行。  
2014.3 環境省/日本自然保護協会のモニタリング1000里地調査に参加。アカガエル産卵調査を開始。  
2015.8 **新事業**・谷地坊主の観察会  
2015.11 乙女高原を取り囲むシカ柵完成（市の事業による）  
2016.4 **新事業**・街の駅やまなしにて、乙女高原(ファンクラブ)の常設展開始  
2016.11 **新事業**・草刈りボランティアに山梨市駅からの送迎バス運行  
2017.4 **新事業**・乙女高原フェロー制度をスタート。2018年1月のフォーラムにて5人をフェロー認定  
2018.2※「乙女高原の谷地坊主」が山梨市の天然記念物に指定される

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp  
ウェブページ <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号)00220-8-71093 (加入者名)乙女高原ファンクラブ